

退院療養計画書

入院理由	息苦しさ、痰の増加
診断名	COPD（慢性閉塞性肺疾患）の急性増悪
主治医	●●●●
入院中の検査	血液検査、X線検査、心電図検査、細菌検査
入院中の治療	酸素吸入、吸入薬治療、ステロイド治療、抗菌薬治療
何が問題か	COPDは、タバコなどの有害物質を長期間吸うことで起こる肺の病気です。 日本人男性の死亡原因の10位の病気です。 咳、痰、息苦しさなどの症状があります。 治癒することはないため、さらに悪くならないための治療・予防が必要です。
何をすべきか、なぜそれが重要か	最も重要な治療は禁煙です。タバコは病気の悪化、再入院率を高めま す。 病気が進行しないために吸入薬・内服薬を継続する必要があります。 感染を起こすと重症化しやすいので、肺炎球菌・インフルエンザの予 防接種が必要です。
次の症状を認めた場 合は医療機関を受診 してください	・発熱、寒気、咳、痰の増加・色調変化などの感染を疑う症状 ・息苦しさ ・眠気、落ち着かないなどの精神的な症状 ・手足の指の色の変化
入院中に開始・変更・ 中止した薬剤	レルベア ^{*1} ：中止、テリルジー ^{*2} ：開始（1日1回/1回あたり1吸入）
退院後の受診日程・ 場所	○月△日の午前10時に、当院の総合診療科外来を受診してください。
情報源	一般社団法人日本呼吸器学会ホームページ http://www.jrs.or.jp/modules/citizen/index.php?content_id=12 一般社団法人 GOLD 日本委員会ホームページ http://www.gold-jac.jp

*1一般名：ビランテロールトリフェニル酢酸塩・フルチカゾンフランカルボン酸エステル

*2一般名：フルチカゾンフランカルボン酸エステル・ウメクリジニウム臭化物・ビランテロールトリフェニル酢酸塩